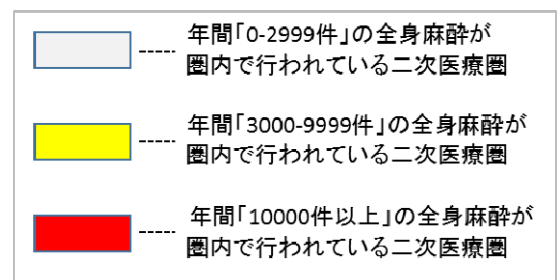
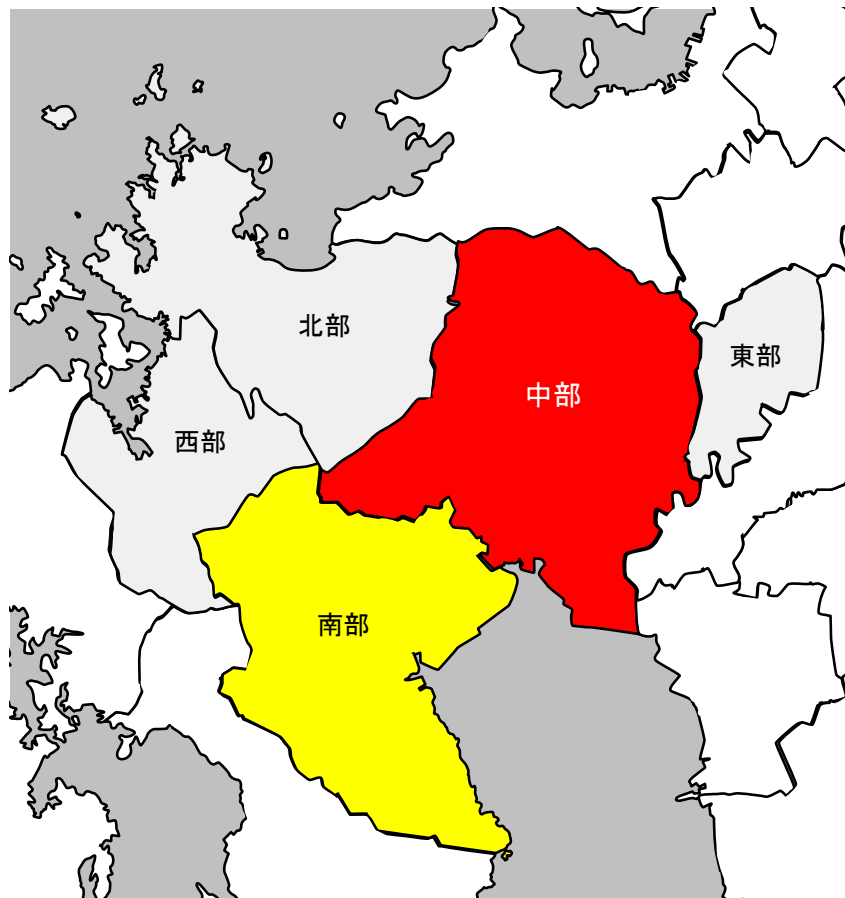


41. 佐賀県



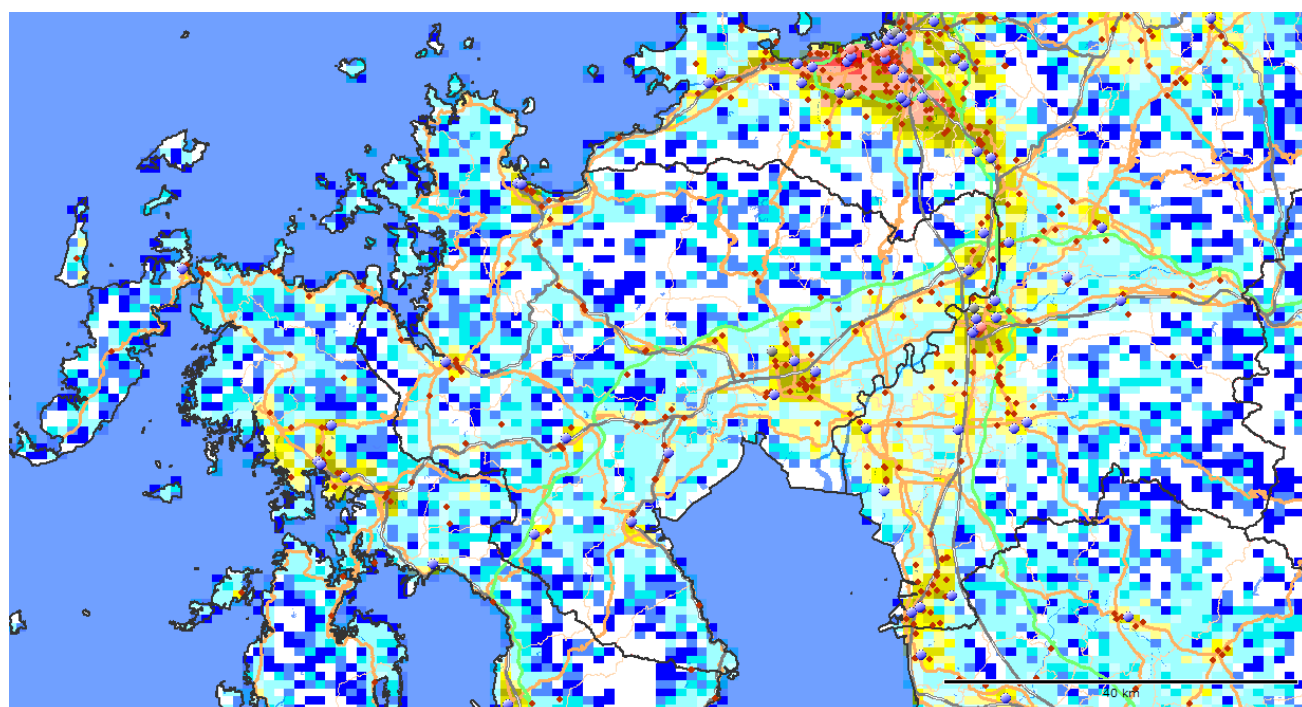
41. 佐賀県

目次

佐賀県.....	41 - 3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料.....	41 - 7
1. 中部医療圏.....	41 - 15
2. 東部医療圏.....	41 - 19
3. 北部医療圏.....	41 - 23
4. 西部医療圏.....	41 - 27
5. 南部医療圏.....	41 - 31

41. 佐賀県

人口分布¹ (1 km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



¹ 佐賀県を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

41. 佐賀県

(佐賀県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 佐賀県は、総人口約 828 千人(2015 年推計)、面積 2440 km²、人口密度は 339 人/km²である。

***人口の将来予測：** 佐賀県の総人口は 2025 年に 775 千人へと減少し(2015 年比-6%)、2040 年に 680 千人へと減少する(2025 年比-12%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 122 千人が、2025 年にかけて 143 千人へと増加し(2015 年比+17%)、2040 年には 151 千人へと増加する(2025 年比+6%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 佐賀県の一人当たり医療費(国保)は 368 千円(偏差値 64)、介護給付費は 288 千円(偏差値 60)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 佐賀県の一人当たり急性期医療密度指数²は 1.1、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.95 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 55(病院医師数 56、診療所医師数 51)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は多い。総看護師数の偏差値は 68 と非常に多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 53 で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は 52 と全国平均レベルである。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 62 と療養病床数は多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 67 と非常に多く、回復期病床数は偏差値 53 とやや多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 61 で精神病床数は多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 52 で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 佐賀県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、11047 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 7394 床(偏差値 52)、高齢者住宅等が 3653 床(偏差値 45)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、10681 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 59)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 53、特別養護老人ホーム 46、介護療養型医療施設 59、有料老人ホーム 44、軽費ホーム 48、グループホーム 63、サ高住 38 である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 58 と多く、在宅療養支援病院は偏差値 58 と多い。介護職員(在宅)の合計は、1014 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 41)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

【医療と介護の需要予測】

*病床機能報告制度による病床機能別病床数と2025年必要病床数(推計)³

①合計病床数： 病床機能報告制度による2014年の合計病床数は12157床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は8800床であり、その差は-3357床(-28%)である。

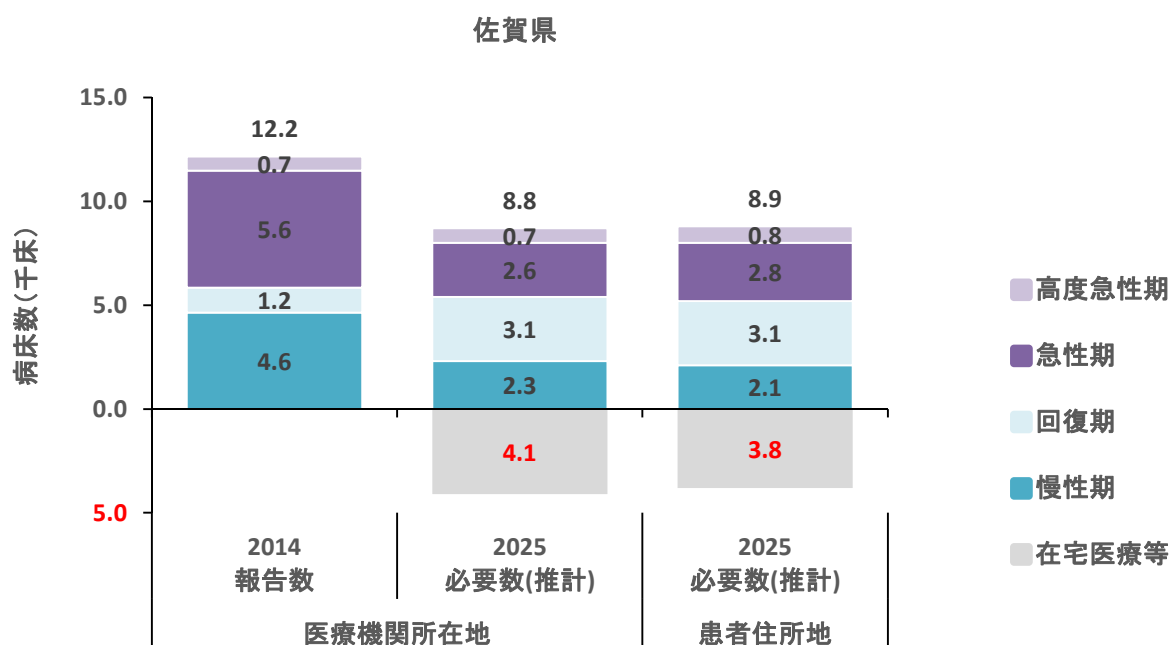
②高度急性期病床数： 高度急性期病床の報告は674床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は700床であり、その差は+26床(+4%)である。

③急性期病床数： 急性期病床の報告は5641床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は2600床であり、その差は-3041床(-54%)である。

④回復期病床数： 回復期病床の報告は1195床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は3100床であり、その差は+1905床(+159%)である。

⑤慢性期病床数： 慢性期病床の報告は4647床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は2300床であり、その差は-2347床(-51%)である。

⑥在宅医療等： 2025年の追加対応患者数(推計)(医療機関所在地)は4100人である。



※二次医療圏別必要病床数(推計)は公表された時点で資料編に追加予定

*介護の2040年の需要予測： 現在の介護充足度指数⁴は+7%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-15%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

³必要病床数(推計)は、都道府県については、医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第1次報告の推計結果。

医療機関所在地ベース：患者の流入が現状のまま継続するものとして、一定の仮定を置いて推計。患者住所地ベース：患者の流入がなく、入院が必要な全ての患者は住所地の二次医療圏の医療機関の病床に入院するものとして、一定の仮定を置いて推計。

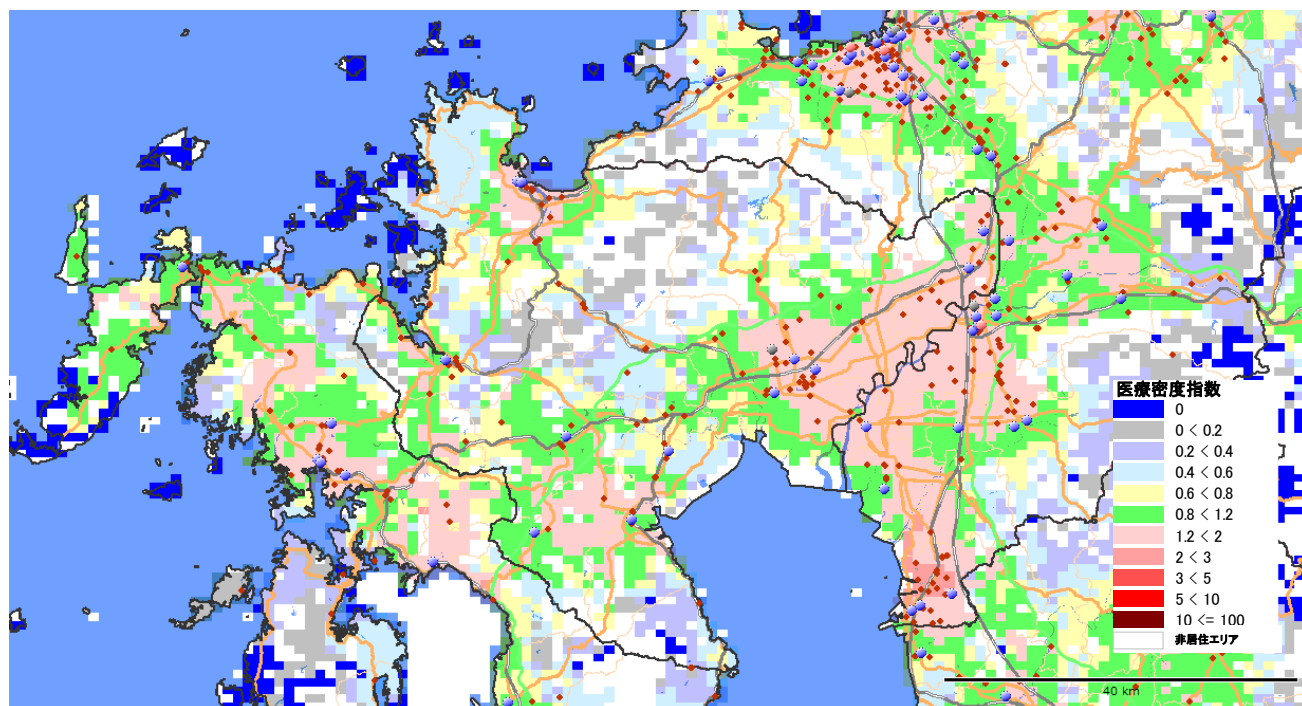
合計病床数には無回答分が含まれているため、合計病床数と各機能別病床数の合計値は合致しない。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

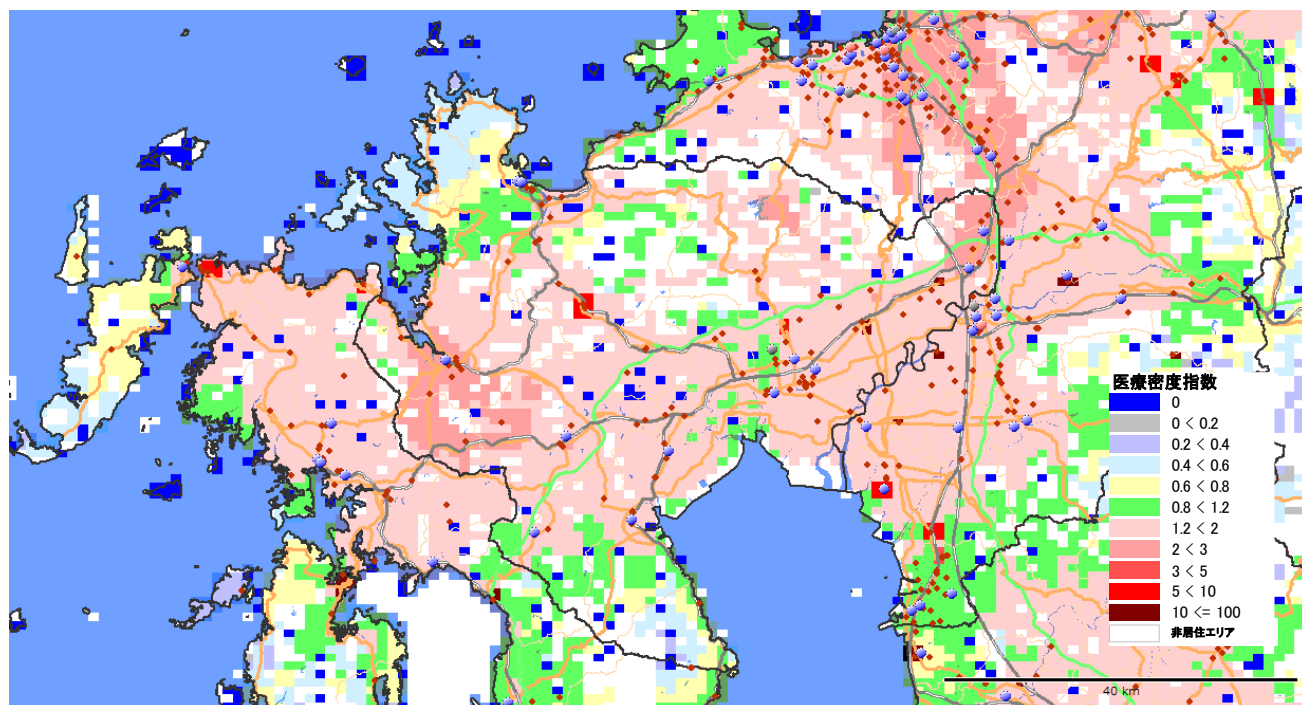
41. 佐賀県

2. 医療密度⁵

図表 41-1 急性期医療密度指数マップ



図表 41-2 慢性期医療密度指数マップ



⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料¹

資_図表 41-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
佐賀県	828	42位	2,440	42位	339.3		28%	775	680	122	143	151	-6%	-12%	17%	6%
中部	345	42%	793	33%	435.1	地方都市型	27%	324	285	48	57	62	-6%	-12%	19%	9%
東部	123	15%	159	6%	777.1	地方都市型	26%	121	115	15	21	22	-2%	-5%	40%	5%
北部	128	15%	523	21%	244.8	地方都市型	29%	117	100	20	22	23	-9%	-15%	10%	5%
西部	76	9%	321	13%	235.9	地方都市型	29%	70	61	12	13	14	-8%	-13%	8%	8%
南部	156	19%	644	26%	241.9	地方都市型	30%	141	120	26	29	30	-10%	-15%	12%	3%

出典 <人口、75歳以上人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月
<面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年

資_図表 41-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)		
			2015年	2025年	2040年
全国	1.00	1.00	0.0%	-32.3%	-32.8%
佐賀県	1.10	1.95	7.0%	-9.0%	-15.2%
中部	1.18	1.93	-8.6%	-30.6%	-41.0%
東部	1.35	1.69	23.5%	-2.6%	-9.6%
北部	0.97	2.82	7.1%	-4.1%	-6.6%
西部	0.85	2.50	6.3%	-5.5%	-8.8%
南部	0.95	1.87	1.6%	-6.3%	-10.7%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

¹日医総研 WP no.323 「地域の医療提供体制の現状と将来・都道府県別・二次医療圏別データ集(2014年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

41. 佐賀県

資_図表 41-3 医療費、介護給付費²

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	310	(42)	250	(37)
佐賀県	368	64	288	60
中部	390	69	278	57
東部	398	71	248	49
北部	315	51	292	61
西部	364	63	326	71
南部	380	67	313	67
出典	<一人あたり医療費>平成24年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成25年度介護保険事業状況報告(年報) 平成25年度累計(平成25年3月サービス分から平成26年2月サービス分まで)			

資_図表 41-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	人口			診療所数	人口		
		県内 シェア	10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,540		6.7	(4.2)	100,528		79	(19.6)
佐賀県	108	1.3%	13.0	65	692	0.7%	84	52
中部	39	36%	11.3	61	315	46%	91	56
東部	14	13%	11.4	61	101	15%	82	51
北部	18	17%	14.0	67	104	15%	81	51
西部	12	11%	15.9	72	60	9%	79	50
南部	25	23%	16.1	72	112	16%	72	46
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

資_図表 41-5 診療所数 (全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	人口			無床 診療所数	人口			有床 診療所数	人口		
		県内 シェア	10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,528		79	(19.6)	91,279		72	(19.0)	9,249		7.3	(7.0)
佐賀県	692	0.7%	84	52	507	0.6%	61	44	185	2.0%	22.3	72
中部	315	46%	91	56	237	47%	69	48	78	42%	22.6	72
東部	101	15%	82	51	82	16%	67	47	19	10%	15.4	62
北部	104	15%	81	51	77	15%	60	44	27	15%	21.1	70
西部	60	9%	79	50	42	8%	56	41	18	10%	23.8	74
南部	112	16%	72	46	69	14%	44	35	43	23%	27.6	79
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

²複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

資_図表 41-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,573,772		1,243	(510)	121,342		96	(111)	1,695,114		1,338	(576)
佐賀県	15,115	1.0%	1,826	61	2,682	2.2%	324	71	17,797	1.0%	2,150	64
中部	5,858	39%	1,697	59	1,127	42%	327	71	6,985	39%	2,024	62
東部	2,410	16%	1,956	64	275	10%	223	61	2,685	15%	2,180	65
北部	2,134	14%	1,665	58	362	13%	283	67	2,496	14%	1,948	61
西部	1,358	9%	1,795	61	277	10%	366	74	1,635	9%	2,161	64
南部	3,355	22%	2,155	68	641	24%	412	79	3,996	22%	2,566	71
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 41-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般病床数				療養病床数				精神病床数			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	897,380		708	(232)	328,195		259	(213)	339,780		268	(219)
佐賀県	6,433	0.7%	777	53	4,344	1.3%	525	62	4,284	1.3%	518	61
中部	3,061	48%	887	58	1,307	30%	379	56	1,482	35%	429	57
東部	747	12%	606	46	851	20%	691	70	778	18%	632	67
北部	888	14%	693	49	631	15%	492	61	611	14%	477	60
西部	484	8%	640	47	530	12%	700	71	340	8%	449	58
南部	1,253	19%	805	54	1,025	24%	658	69	1,073	25%	689	69
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

資_図表 41-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数³

二次医療圏	回復期病床数				地域包括ケア病床数			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	74,508		59	(46)	21,119		36	(44)
佐賀県	606	0.8%	73	53	354	1.7%	43	52
中部	207	34%	60	50	87	25%	25	48
東部	166	27%	135	66	134	38%	109	66
北部	67	11%	52	49	23	6%	18	46
西部	69	11%	91	57	48	14%	63	56
南部	97	16%	62	51	62	18%	40	51
出典	地方厚生局データを活用した全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会の独自調査 平成27年3月				地方厚生局データを活用した地域包括ケア病棟協会の独自調査 平成27年5月			

³福岡県・近畿厚生局、近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでいない。人口あたり病床数（全国値）の算出にあたっては、データを入手できていない地域の人口は割合で計算している。

41. 佐賀県

資_図表 41-9 全身麻酔件数、分娩件数（年間）

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	2,577,228		2,035	(946)	1,062,024		838	(291)
佐賀県	18,588	0.7%	2,245	52	8,112	0.8%	980	55
中部	11,112	60%	3,220	63	3,864	48%	1,120	60
東部	492	3%	399	33	468	6%	380	34
北部	1,944	10%	1,517	45	1,416	17%	1,105	59
西部	480	3%	634	35	852	11%	1,126	60
南部	4,560	25%	2,929	59	1,512	19%	971	55
出典	平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資_図表 41-10 医師数（総数、病院医師数、診療所医師数）

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	328,427		259	(89)	206,659		163	(65)	121,769		96	(30)
佐賀県	2,485	0.8%	300	55	1,668	0.8%	201	56	817	0.7%	99	51
中部	1,323	53%	383	64	935	56%	271	67	387	47%	112	55
東部	264	11%	215	45	151	9%	123	44	113	14%	92	49
北部	317	13%	248	49	204	12%	159	49	114	14%	89	48
西部	156	6%	206	44	93	6%	123	44	63	8%	83	46
南部	425	17%	273	52	285	17%	183	53	140	17%	90	48
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資_図表 41-11 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,070,056		845	(286)	889,314		702	(241)	180,742		143	(74)
佐賀県	11,192	1.0%	1,352	68	8,661	1.0%	1,046	64	2,531	1.4%	306	72
中部	4,943	44%	1,432	71	3,646	42%	1,056	65	1,297	51%	376	81
東部	1,533	14%	1,244	64	1,173	14%	952	60	359	14%	292	70
北部	1,523	14%	1,189	62	1,198	14%	935	60	326	13%	254	65
西部	926	8%	1,223	63	754	9%	996	62	172	7%	227	61
南部	2,267	20%	1,456	71	1,890	22%	1,214	71	377	15%	242	63
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資_図表 41-12 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	111,708		88	(49)	280,052		221	(94)
佐賀県	1,412	1.3%	171	67	1,779	0.6%	215	49
中部	505	36%	146	62	861	48%	249	53
東部	314	22%	255	84	279	16%	226	51
北部	164	12%	128	58	228	13%	178	45
西部	145	10%	192	71	121	7%	160	44
南部	284	20%	182	69	290	16%	186	46
出典	平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成24年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成24年12月			

資_図表 41-13 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	14,364		0.9	(0.5)	1,027		0.1	(0.1)
佐賀県	149	1.0%	1.2	58	13	1.3%	0.1	58
中部	53	36%	1.1	55	5	38%	0.1	57
東部	36	24%	2.3	82	3	23%	0.2	72
北部	26	17%	1.3	59	2	15%	0.1	56
西部	7	5%	0.6	44	0	0%	0	39
南部	27	18%	1.0	53	3	23%	0.1	59
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月			

資_図表 41-14 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,572,585		96	(16)	966,631		59	(13)	605,954		37	(14)
佐賀県	11,047	0.7%	91	47	7,394	0.8%	61	52	3,653	0.6%	30	45
中部	4,062	37%	85	44	2,747	37%	57	49	1,315	36%	28	43
東部	1,835	17%	119	64	865	12%	56	48	970	27%	63	68
北部	1,831	17%	91	47	1,231	17%	61	52	600	16%	30	45
西部	1,091	10%	92	48	756	10%	64	54	335	9%	28	44
南部	2,228	20%	84	43	1,795	24%	68	57	433	12%	16	36
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

41. 佐賀県

資_図表 41-15 老人保健施設（老健）定員数、特別養護老人ホーム（特養）定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設（老健）定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム （特養） 定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
佐賀県	2,866	0.8%	24	53	3,545	0.7%	29	46	983	1.4%	8.1	59
中部	1,246	43%	26	58	1,243	35%	26	43	258	26%	5.4	53
東部	240	8%	16	39	495	14%	32	49	130	13%	8.4	60
北部	440	15%	22	50	698	20%	35	52	93	9%	4.6	51
西部	240	8%	20	47	360	10%	30	48	156	16%	13.1	71
南部	700	24%	26	58	749	21%	28	46	346	35%	13.1	71
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 41-16 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
佐賀県	794	0.4%	6.5	44	100	0.5%	0.8	48	2,255	1.2%	18.5	63
中部	179	23%	3.7	41	50	50%	1.0	49	764	34%	16.0	58
東部	260	33%	16.9	54	50	50%	3.2	61	504	22%	32.7	88
北部	170	21%	8.5	46	0	0%	0	43	430	19%	21.5	68
西部	135	17%	11.3	49	0	0%	0	43	189	8%	15.9	58
南部	50	6%	1.9	39	0	0%	0	43	368	16%	13.9	55
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 41-17 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 （全施設）	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 （特定 施設）	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 （非特定 施設）	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
佐賀県	504	0.3%	4.1	38	30	0.3%	0.2	47	474	0.3%	3.9	38
中部	322	64%	6.7	42	0	0%	0	45	322	68%	6.7	43
東部	156	31%	10.1	48	30	100%	1.9	61	126	27%	8.2	45
北部	0	0%	0	31	0	0%	0	45	0	0%	0	31
西部	11	2%	0.9	33	0	0%	0	45	11	2%	0.9	33
南部	15	3%	0.6	32	0	0%	0	45	15	3%	0.6	32
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 41-18 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	153,515		9.3	(2.5)	116,114		7.1	(2.3)	37,402		2.3	(0.8)
佐賀県	1,434	0.9%	11.8	60	1,175	1.0%	9.7	61	260	0.7%	2.1	48
中部	451	31%	9.4	50	345	29%	7.2	51	106	41%	2.2	49
東部	188	13%	12.2	62	148	13%	9.6	61	40	15%	2.6	54
北部	221	15%	11.0	57	188	16%	9.4	60	33	13%	1.7	42
西部	196	14%	16.4	78	173	15%	14.5	83	23	9%	1.9	46
南部	378	26%	14.3	70	321	27%	12.1	72	57	22%	2.2	49
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 41-19 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,449,644		88	(15.7)	1,230,764		75	(14.6)	218,879		13.3	(5.4)
佐賀県	11,694	0.8%	96	55	10,681	0.9%	88	59	1,014	0.5%	8.3	41
中部	4,360	37%	91	52	3,876	36%	81	54	484	48%	10.1	44
東部	1,515	13%	98	57	1,389	13%	90	61	125	12%	8.1	40
北部	2,117	18%	106	61	1,983	19%	99	67	133	13%	6.7	38
西部	1,186	10%	100	57	1,093	10%	92	62	93	9%	7.8	40
南部	2,517	22%	95	55	2,340	22%	88	59	178	18%	6.7	38
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 41-20 在宅医療・介護サービス利用者数（月間）

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	733,366		45	(24)	349,081		21	(9)	1,423,393		86	(30)
佐賀県	5,205	0.7%	43	49	959	0.3%	8	35	7,873	0.6%	65	43
中部	2,185	42%	46	50	426	44%	9	37	3,747	48%	78	47
東部	1,084	21%	70	61	107	11%	7	34	698	9%	45	36
北部	829	16%	41	49	162	17%	8	36	1,445	18%	72	45
西部	103	2%	9	35	112	12%	9	37	694	9%	58	41
南部	1,004	19%	38	47	152	16%	6	33	1,289	16%	49	38
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

41. 佐賀県

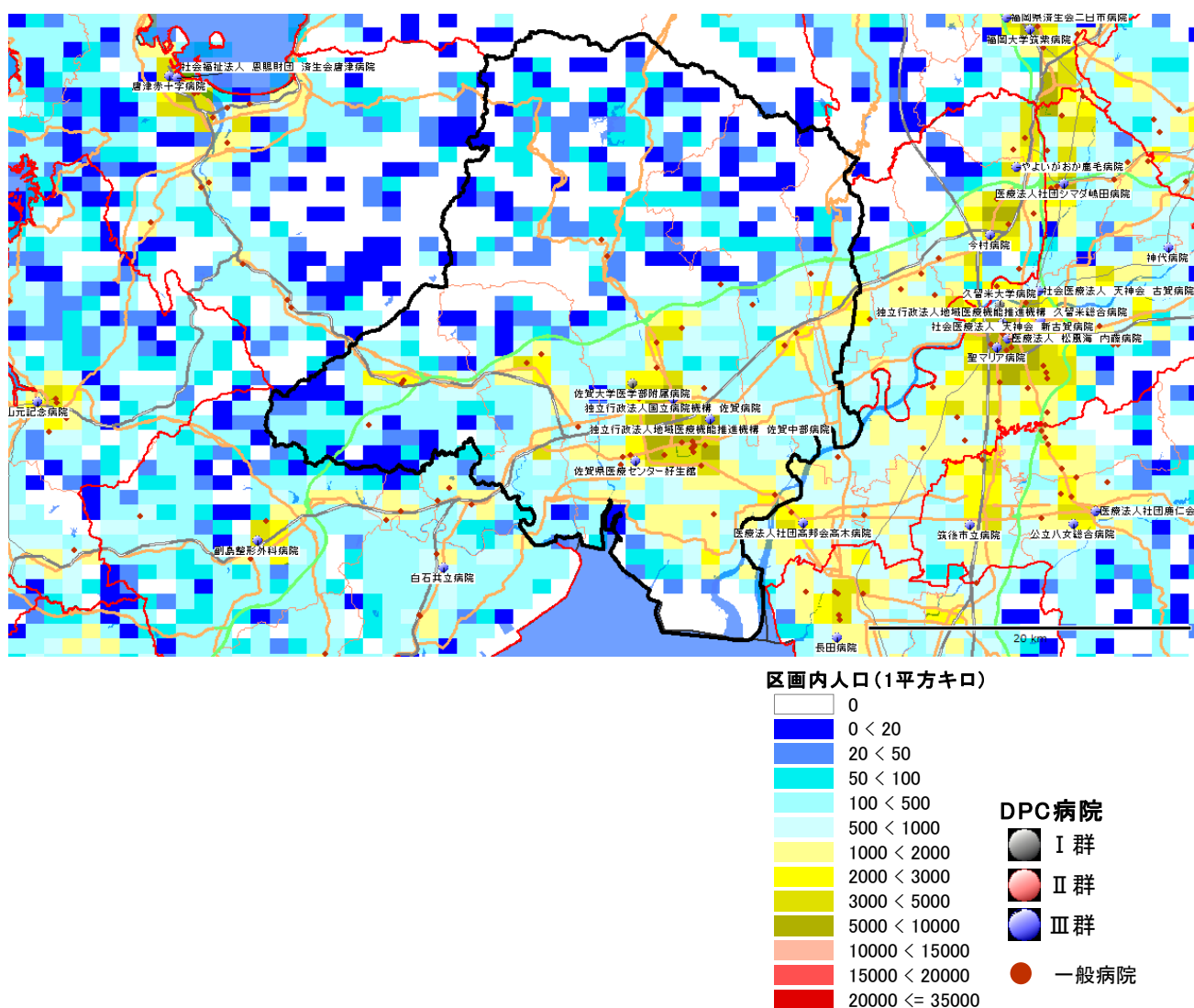
資_図表 41-21 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
佐賀県	4,523	3,738	230	10,564	2,685	4,144	58.2%	52	5.3%	48
中部	2,565	1,967	89	3,313	1,154	1,178	63.0%	54	7.0%	49
東部	470	436	0	1,934	271	891	61.7%	54	0.0%	46
北部	626	521	101	1,508	337	560	60.7%	54	15.3%	53
西部	318	274	40	1,030	210	490	56.6%	52	7.5%	49
南部	544	540	0	2,779	713	1,025	43.1%	46	0.0%	46
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

ちゅうぶ 41-1. 中部医療圏

構成市区町村¹ 佐賀市, 多久市, 小城市, 神埼市, 吉野ヶ里町

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 中部医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(中部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 中部(佐賀市)は、総人口約 345 千人(2015 年推計)、面積 793 km²、人口密度は 435 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 中部の総人口は 2025 年に 324 千人へと減少し(2015 年比-6%)、2040 年に 285 千人へと減少する(2025 年比-12%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 48 千人が、2025 年にかけて 57 千人へと増加し(2015 年比+19%)、2040 年には 62 千人へと増加する(2025 年比+9%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 中部の一人当たり医療費(国保)は 390 千円(偏差値 69)、介護給付費は 278 千円(偏差値 57)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 中部の一人当たり急性期医療密度指数³は 1.18、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.93 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 64(病院医師数 67、診療所医師数 55)と、総医師数は多く、病院医師数は非常に多く、診療所医師数は全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 71 と非常に多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 58 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 63 と多い。中部には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の佐賀大学医学部附属病院(I 群・救命)、佐賀県医療センター好生館(救命)、500 例以上の佐賀中部病院、佐賀病院がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 56 と療養病床数は多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 62 と多く、回復期病床数は偏差値 50 と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 57 で精神病床数は多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 56 で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 中部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4062 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 2747 床(偏差値 49)、高齢者住宅等が 1315 床(偏差値 43)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3876 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 54)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 58、特別養護老人ホーム 43、介護療養型医療施設 53、有料老人ホーム 41、軽費ホーム 49、グループホーム 58、サ高住 42 である。

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 55 とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値 57 と多い。介護職員（在宅）の合計は、484 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 44)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

【医療と介護の需要予測】

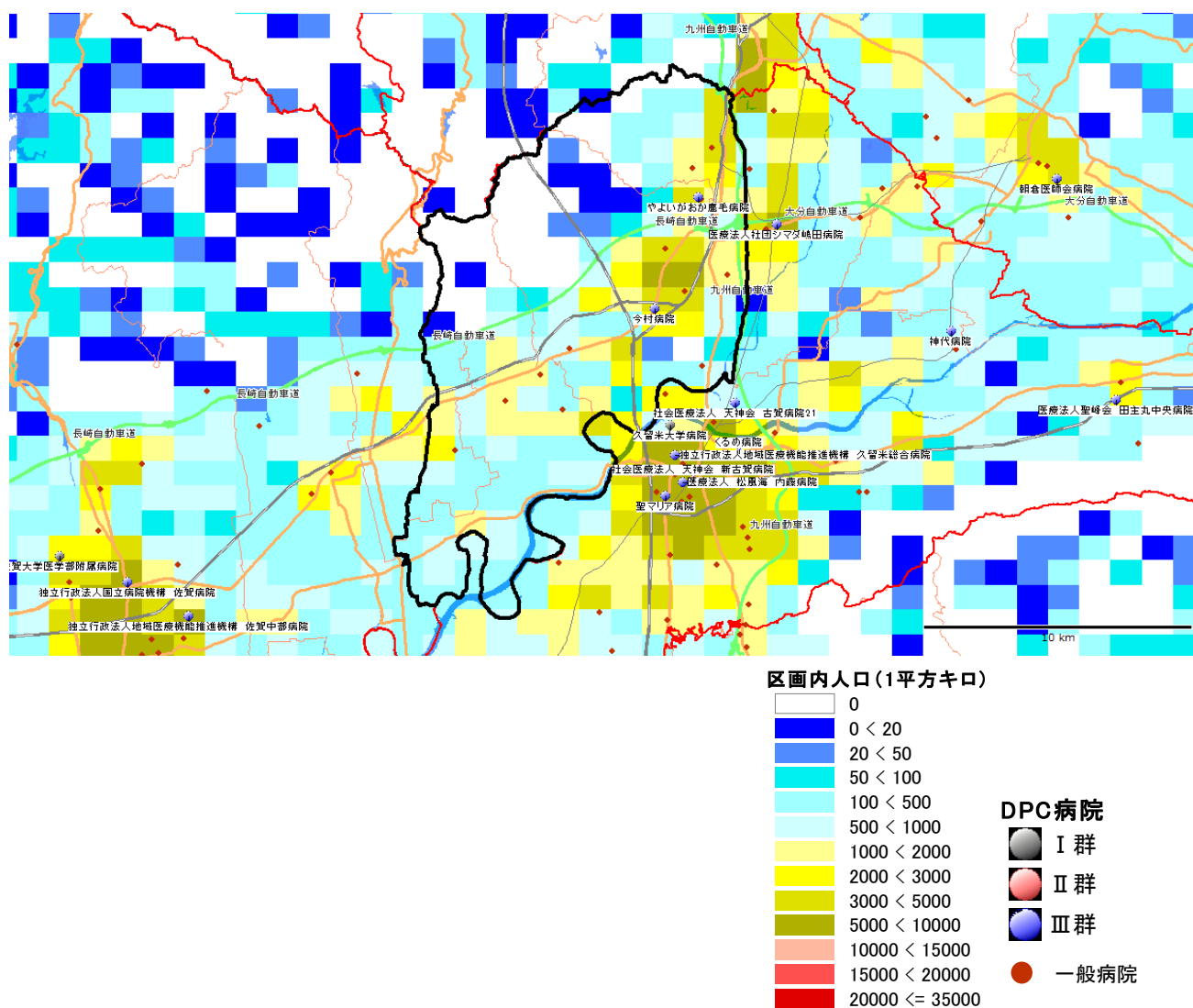
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は-9%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040 年の介護充足度指数は-41%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

とうぶ 41-2. 東部医療圏

構成市区町村¹ 鳥栖市, 基山町, 上峰町, みやき町

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 東部医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(東部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 東部(鳥栖市)は、総人口約 123 千人(2015 年推計)、面積 159 km²、人口密度は 777 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 東部の総人口は 2025 年に 121 千人へと減少し(2015 年比-2%)、2040 年に 115 千人へと減少する(2025 年比-5%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 15 千人が、2025 年にかけて 21 千人へと増加し(2015 年比+40%)、2040 年には 22 千人へと増加する(2025 年比+5%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 東部の一人当たり医療費(国保)は 398 千円(偏差値 71)、介護給付費は 248 千円(偏差値 49)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 東部の一人当たり急性期医療密度指数³は 1.35、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.69 で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 45(病院医師数 44、診療所医師数 49)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は 64 と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 46 で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は 33 と非常に少ない。東部には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 70 と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 84 と非常に多く、回復期病床数は偏差値 66 と非常に多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 67 で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 51 で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 東部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1835 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 64)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 865 床(偏差値 48)、高齢者住宅等が 970 床(偏差値 68)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルを大きく上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1389 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 61)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 39、特別養護老人ホーム 49、介護療養型医療施設 60、有料老人ホーム 54、軽費ホーム 61、グループホーム 88、サ高住 48 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 82 と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値 72

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実。

と非常に多い。介護職員（在宅）の合計は、125人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

【医療と介護の需要予測】

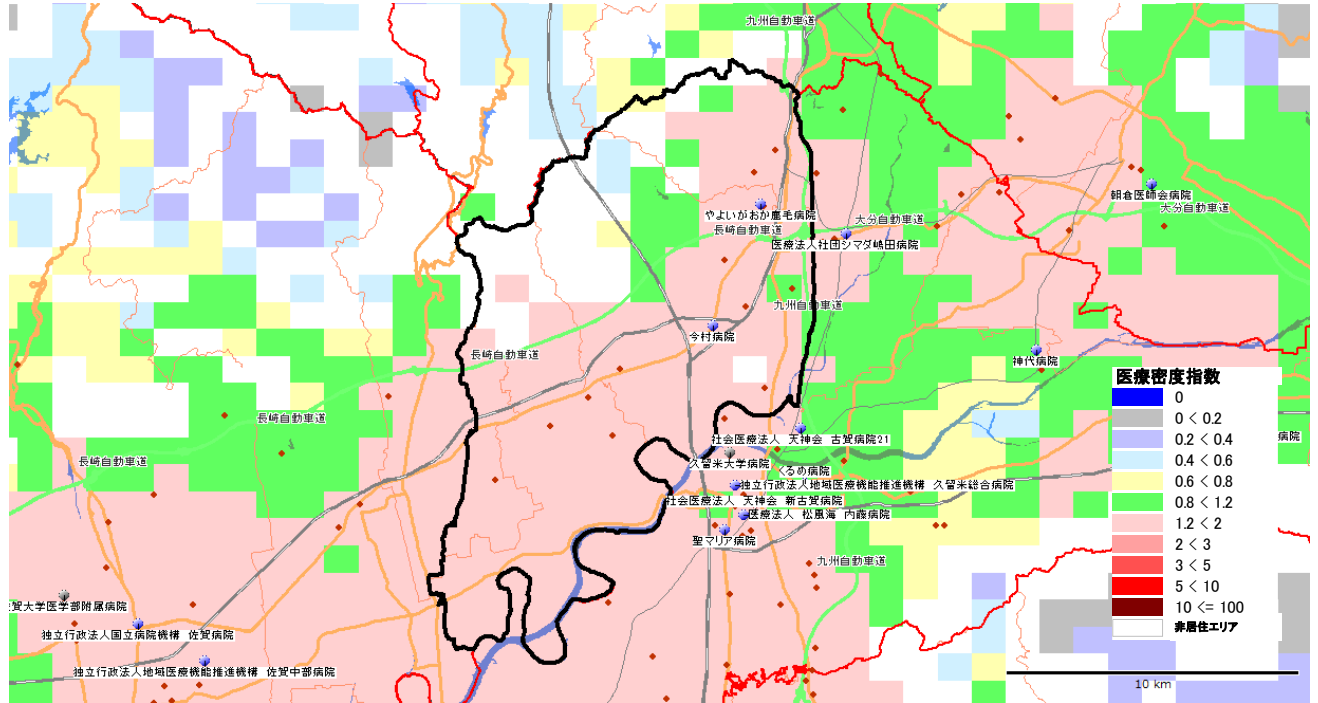
***介護の2040年の需要予測：**現在の介護充足度指数⁴は+23%であり、介護の充足度は高い。2040年の介護充足度指数は-10%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

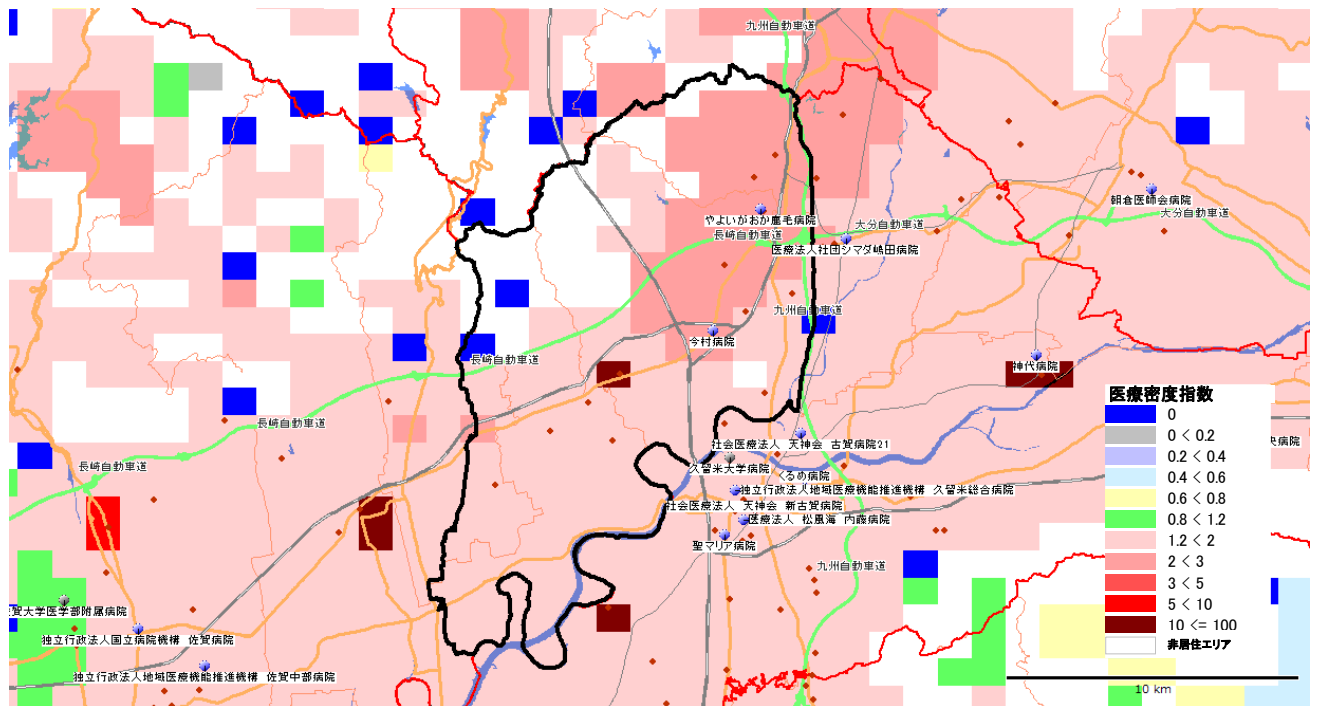
41. 佐賀県

2. 医療密度⁵

図表 41-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表 41-2-2 慢性期医療密度指数マップ

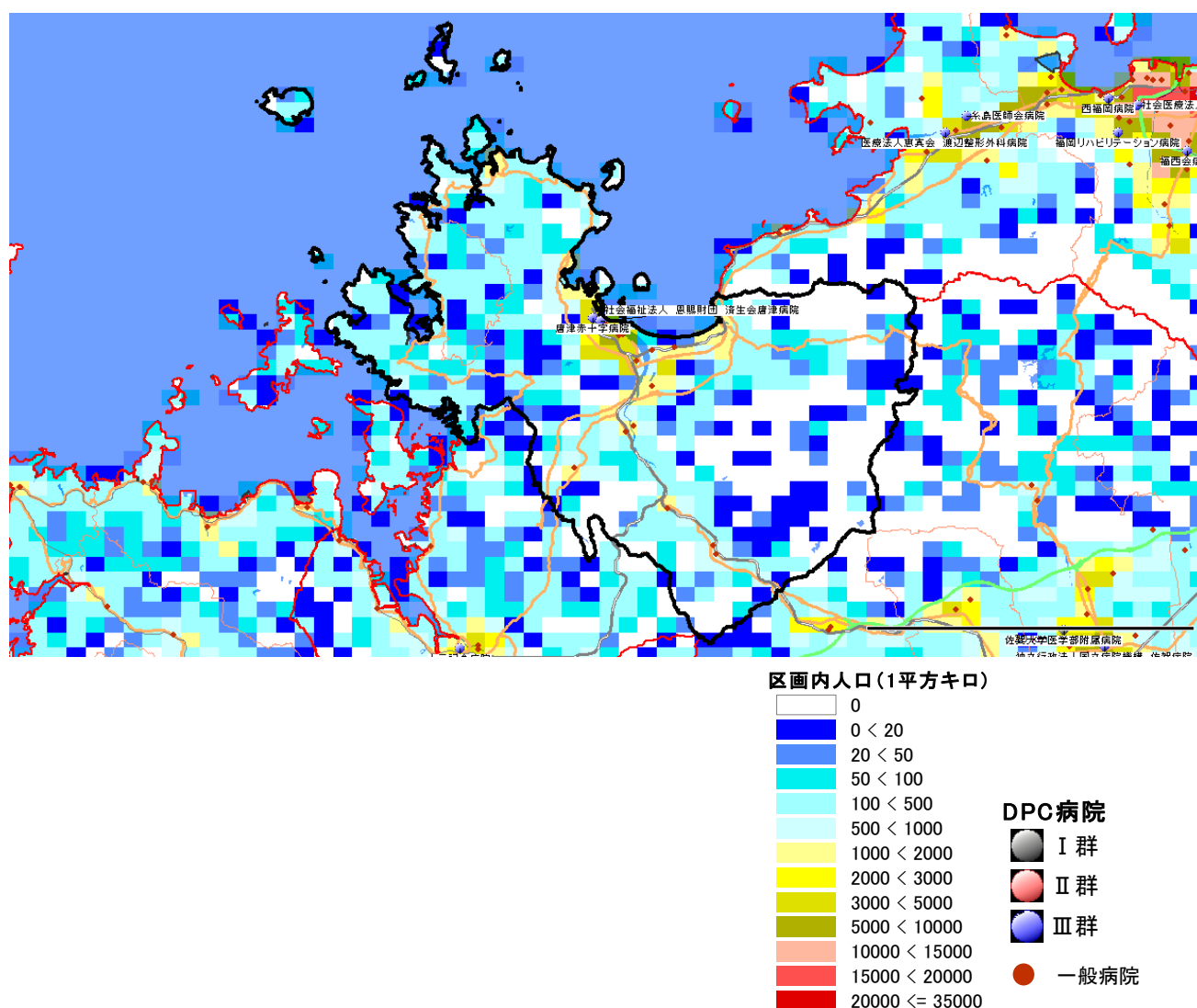


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

ほくぶ 41-3. 北部医療圏

構成市区町村¹ 唐津市, 玄海町

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 北部医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 北部(唐津市)は、総人口約 128 千人(2015 年推計)、面積 523 km²、人口密度は 245 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 北部の総人口は 2025 年に 117 千人へと減少し(2015 年比-9%)、2040 年に 100 千人へと減少する(2025 年比-15%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 20 千人が、2025 年にかけて 22 千人へと増加し(2015 年比+10%)、2040 年には 23 千人へと増加する(2025 年比+5%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 北部の一人当たり医療費(国保)は 315 千円(偏差値 51)、介護給付費は 292 千円(偏差値 61)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 北部の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.97、一人当たり慢性期医療密度指数は 2.82 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 49(病院医師数 49、診療所医師数 48)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにはほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 62 と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 49 で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は 45 とやや少ない。北部には、年間全身麻酔件数が 1000 例以上の唐津赤十字病院(救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 61 と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 58 と多く、回復期病床数は偏差値 49 と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 60 で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 51 で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1831 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 1231 床(偏差値 52)、高齢者住宅等が 600 床(偏差値 45)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1983 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 67)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 50、特別養護老人ホーム 52、介護療養型医療施設 51、有料老人ホーム 46、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 68、サ高住なし(偏

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

差値 31)である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 59 と多く、在宅療養支援病院は偏差値 56 と多い。介護職員（在宅）の合計は、133 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 38)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

【医療と介護の需要予測】

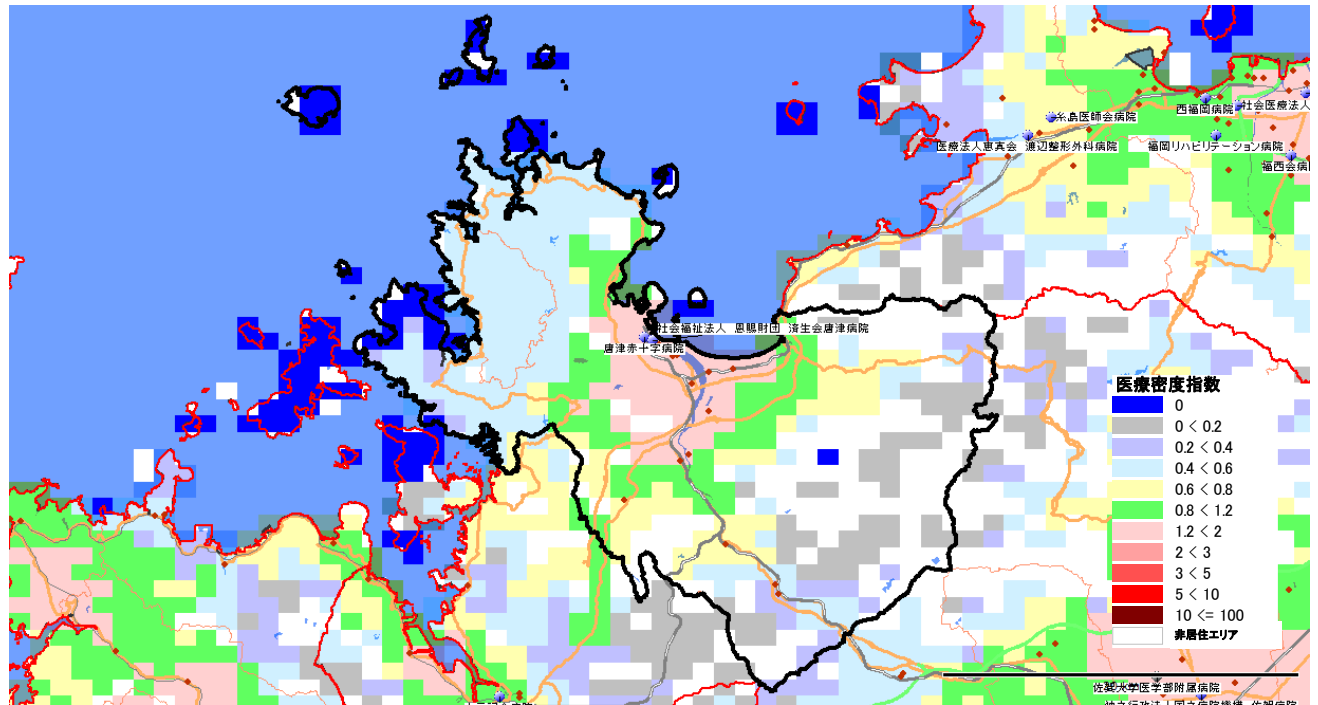
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は+7%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040 年の介護充足度指数は-7%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

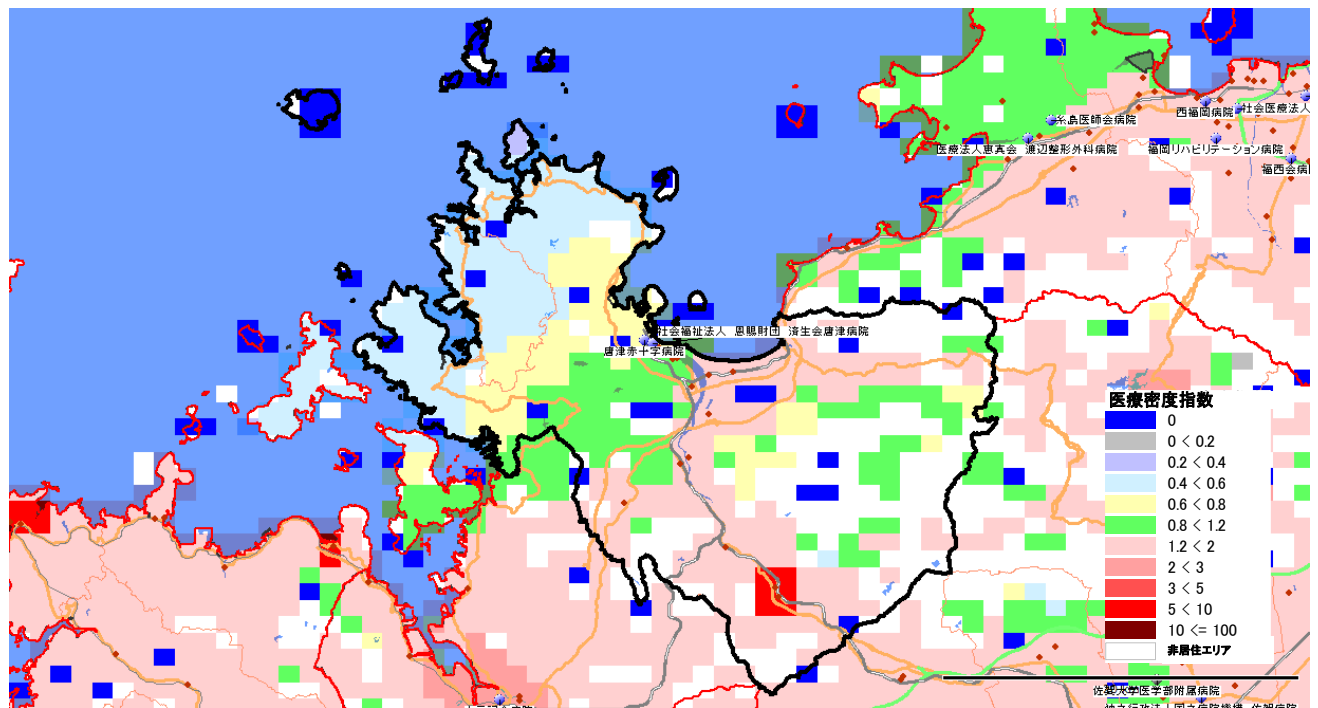
41. 佐賀県

2. 医療密度⁵

図表 41-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表 41-3-2 慢性期医療密度指数マップ

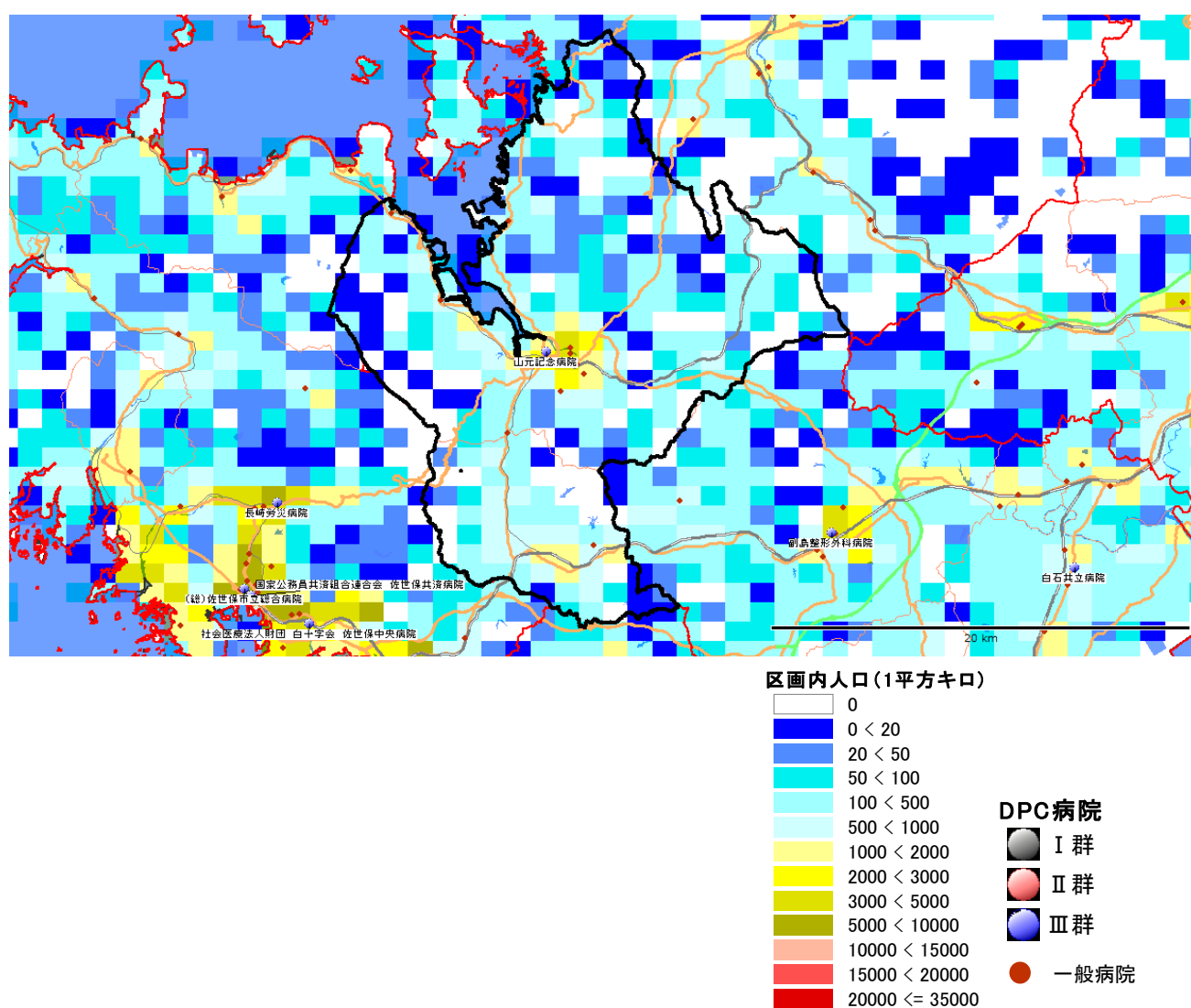


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

41-4. せいぶ 西部医療圏

構成市区町村¹ 伊万里市,有田町

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 西部医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など：西部(伊万里市)は、総人口約76千人(2015年推計)、面積321km²、人口密度は236人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測：西部の総人口は2025年に70千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に61千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の12千人が、2025年にかけて13千人へと増加し(2015年比+8%)、2040年には14千人へと増加する(2025年比+8%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費：西部の一人当たり医療費(国保)は364千円(偏差値63)、介護給付費は326千円(偏差値71)であり、医療費は高く、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度：西部の一人当たり急性期医療密度指数³は0.85、一人当たり慢性期医療密度指数は2.5で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状：総医師数の偏差値が44(病院医師数44、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は63と多い。

*一般病床等の現状：人口当たりの一般病床の偏差値は47で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は35と少ない。西部には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状：人口当たりの療養病床の偏差値は71と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状：総療法士数は偏差値71と非常に多く、回復期病床数は偏差値57と多い。

*精神病床の現状：人口当たりの精神病床の偏差値は58で精神病床数は多い。

*診療所の現状：人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状：西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1091人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が756床(偏差値54)、高齢者住宅等が335床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1093人(75歳以上1000人当たりの偏差値62)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設47、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設71、有料老人ホーム49、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム58、サ高住33である。

*在宅ケアの現状：在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。介護職員(在宅)の合計は、93人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均、0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実

【医療と介護の需要予測】

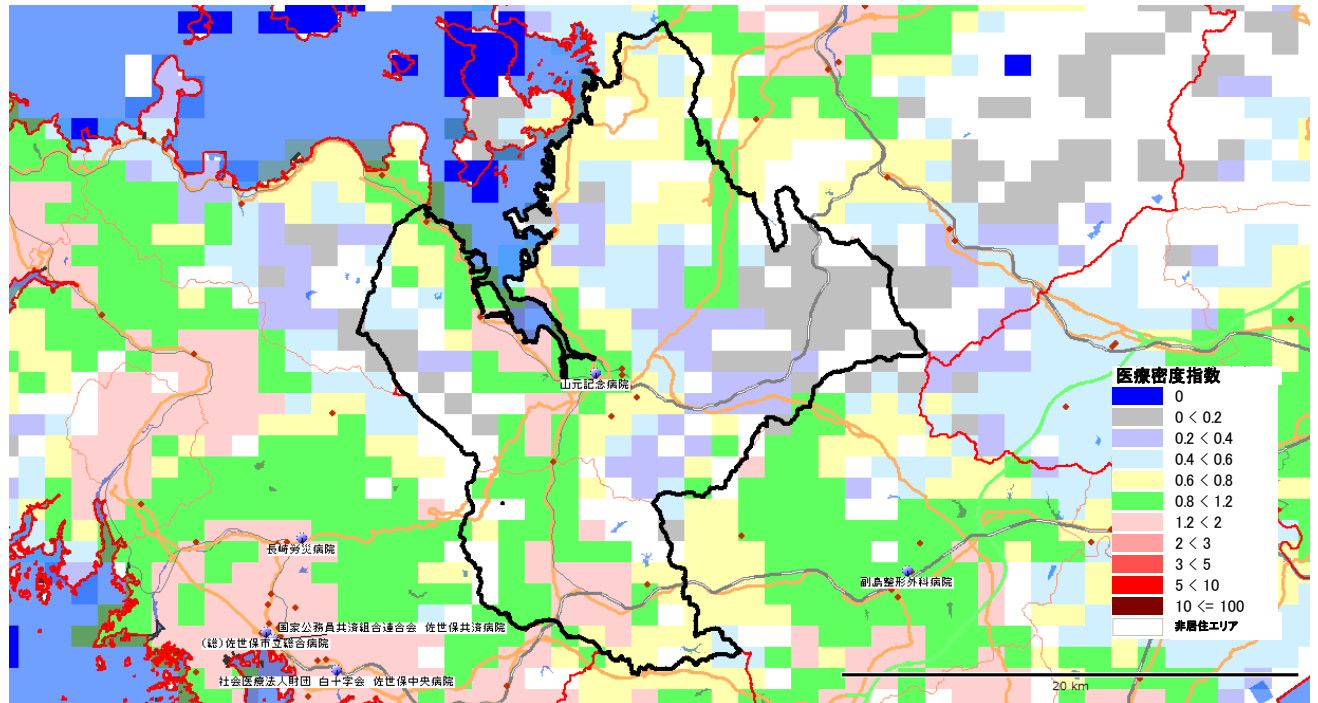
***介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は+6%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-9%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

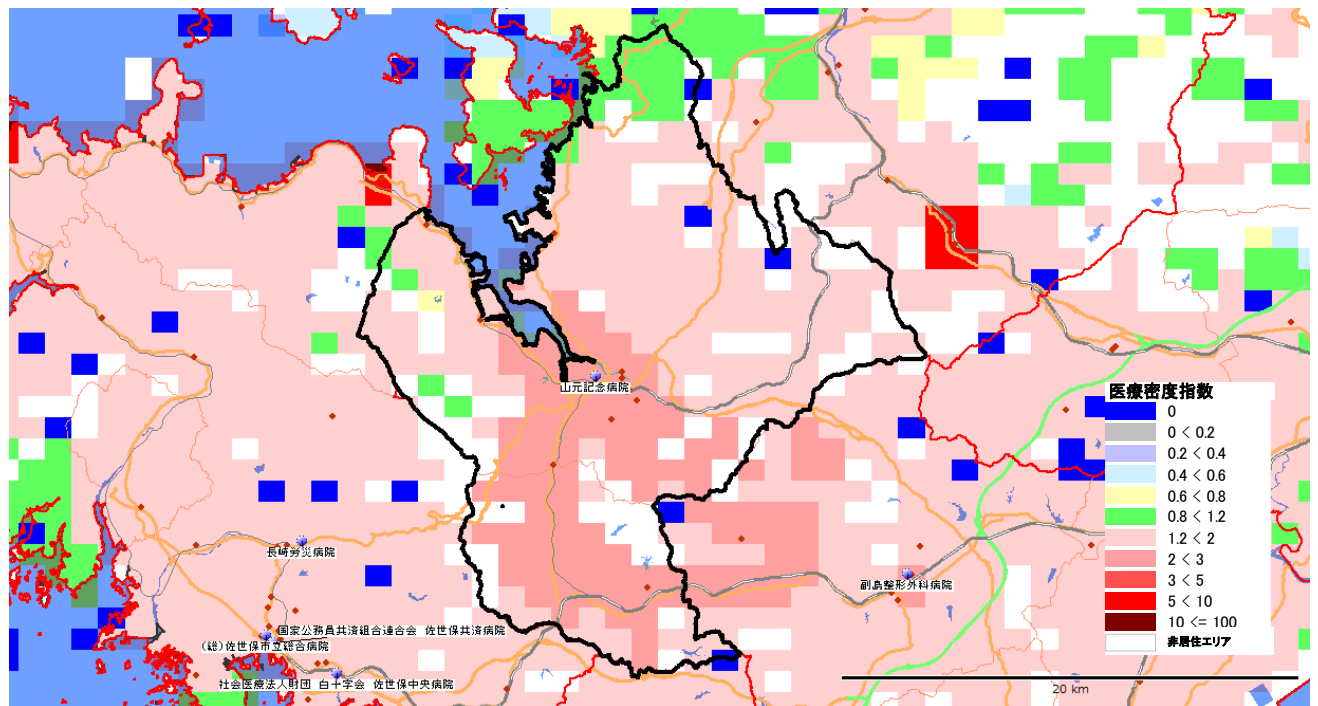
41. 佐賀県

2. 医療密度⁵

図表 41-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表 41-4-2 慢性期医療密度指数マップ

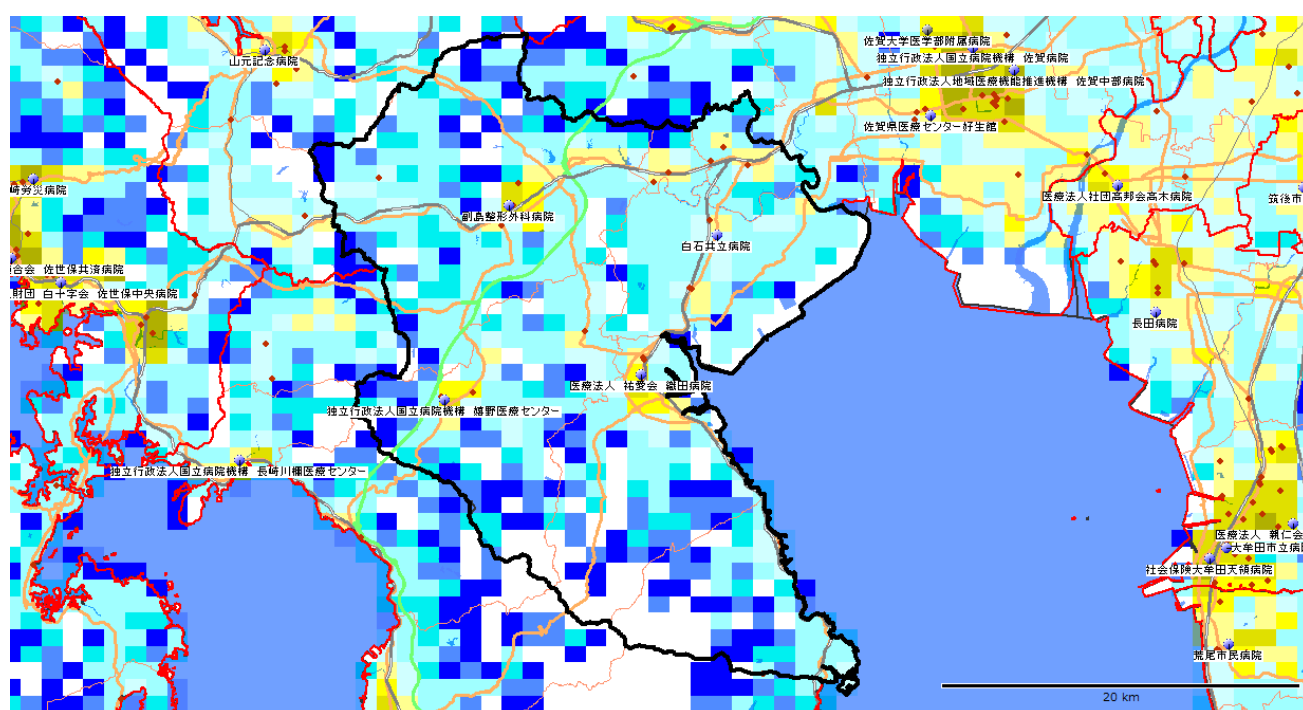


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

なんぶ 41-5. 南部医療圏

構成市区町村¹ [武雄市](#), [鹿島市](#), [嬉野市](#), [大町町](#), [江北町](#), [白石町](#), [太良町](#)

人口分布² (1 km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

● I 群

● II 群

● III 群

● 一般病院

¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 南部医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 南部(武雄市)は、総人口約 156 千人(2015 年推計)、面積 644 km²、人口密度は 242 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 南部の総人口は 2025 年に 141 千人へと減少し(2015 年比-10%)、2040 年に 120 千人へと減少する(2025 年比-15%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 26 千人が、2025 年にかけて 29 千人へと増加し(2015 年比+12%)、2040 年には 30 千人へと増加する(2025 年比+3%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 南部の一人当たり医療費(国保)は 380 千円(偏差値 67)、介護給付費は 313 千円(偏差値 67)であり、医療費、介護給付費ともに非常に高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 南部の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.95、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.87 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 52(病院医師数 53、診療所医師数 48)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 71 と非常に多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 54 で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は 59 と多い。南部には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の嬉野医療センター(救命)、500 例以上の副島整形外科病院がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 69 と療養病床数は非常に多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 69 と非常に多く、回復期病床数は偏差値 51 と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 69 で精神病床数は非常に多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 46 で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2228 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 1795 床(偏差値 57)、高齢者住宅等が 433 床(偏差値 36)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2340 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 59)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 58、特別養護老人ホーム 46、介護療養型医療施設 71、有料老人ホーム 39、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 55、サ高住 32 で

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

ある。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 53 とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値 59 と多い。介護職員（在宅）の合計は、178 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 38)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

【医療と介護の需要予測】

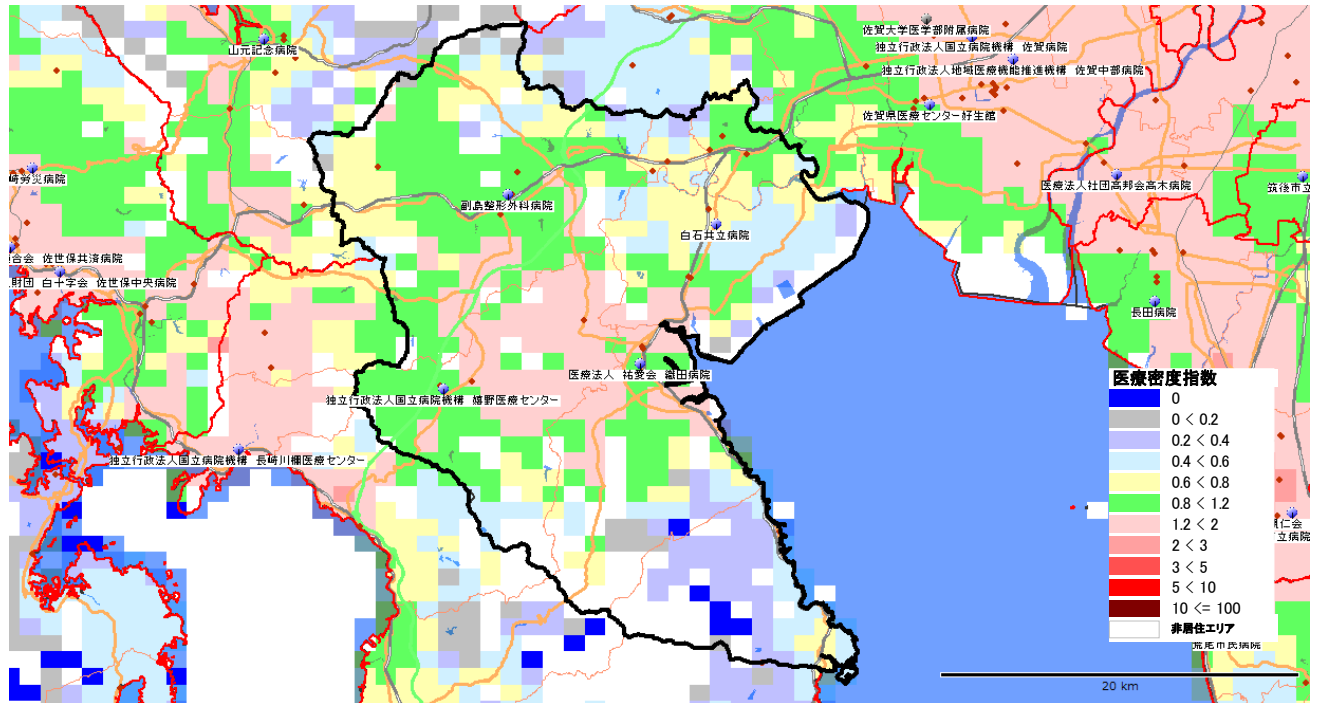
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は+2%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040 年の介護充足度指数は-11%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

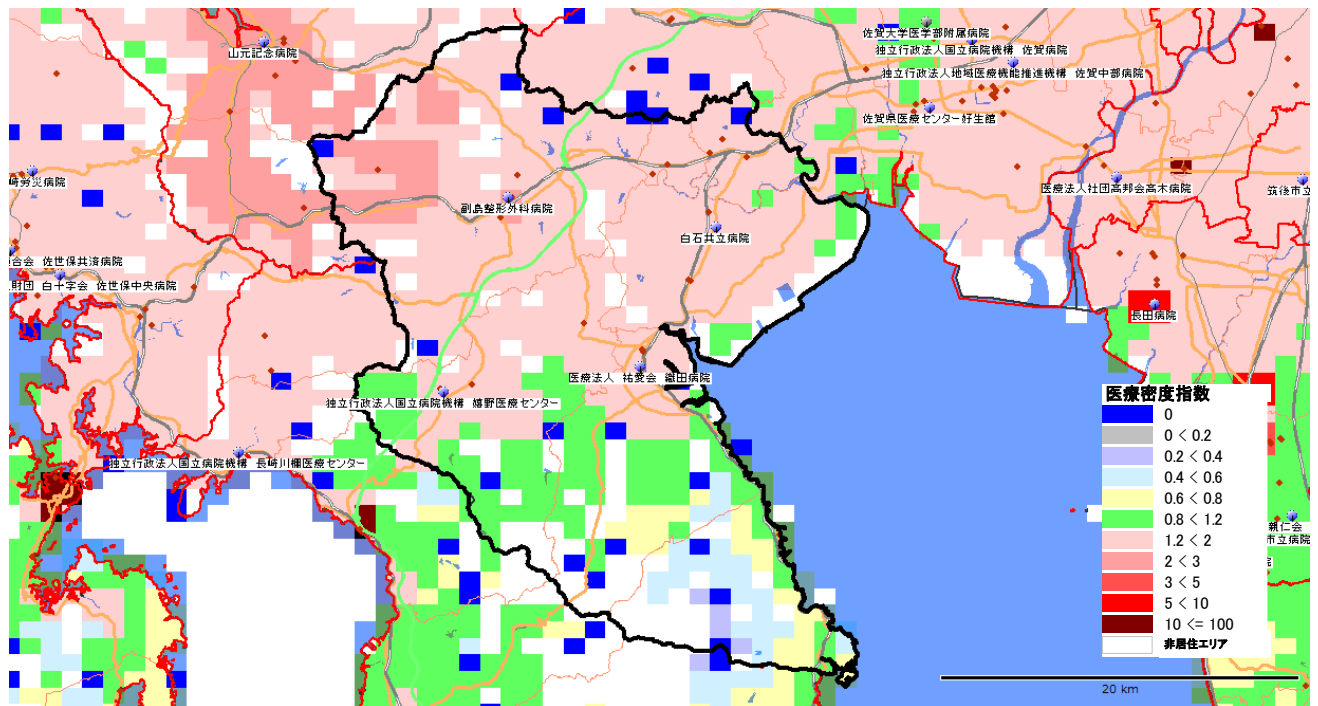
41. 佐賀県

2. 医療密度⁵

図表 41-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表 41-5-2 慢性期医療密度指数マップ



⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。